

君達が愛し創造するふるさと由良  
平成30年 由良町成人式

## 12月定例会

議案質疑 P3

委員会視察 P4~5

一般質問 P6~11

# 締め!! 新成人

2018.2.1

平成29年  
**12月定例会**  
12月11日～15日

平成三十年を迎えて

議長 藤田 富三



あけましておめでとうございます。  
皆様には新しい年を迎えられ心からお慶び申し上げます。  
平素は議会に対しまして、ご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。  
日本経済は上向き傾向にあると言われてはいますが、我々地方においては依然として厳しいものがあります。当町においても昨年6月末には、人口が6,000人を切り、人口減少に歯止めがきかない状態にあります。  
安全で安心して暮らせる町づくりのため、防災・減災対策を最重要課題とし、人口減少、一次産業、観光・商業の活性化、子どもの育成支援、高齢者福祉対策、基幹道路の整備等の課題が山積しています。この厳しいときを打開するためにも、議会と執行部が一丸となって、町民の方々の信頼にこたえるため全力で取り組んでまいります。  
町民の皆様方には、今後とも一層のご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、益々のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、新年の挨拶といたします。

**一般会計補正予算3億7060万円追加  
歳入、歳出42億2180万円に**

平成29年12月定例会が、12月11日から15日まで5日間の日程で開催され、報告1件、条例一部改正3件、条例廃止1件、補正予算4件、追加議案1件の計10件の議案が提出されました。  
提出された議案は、すべて原案の通り可決、承認しました。  
なお、国に対して意見書1件を提出しました。  
一般質問は、6名の議員が登壇しました。

委員会視察

一般質問

2017年(平成29年)主な議会年表

- 1月8日 消防団出初式
- 2月 8日 成人式
- 7日～8日 ゆら創生総合戦略調査特別委員会視察(広島県)
- 24日 議会運営委員会(第1回臨時会について)
- 24日 **第1回臨時会**
- (正副議長選挙・委員会構成ほか工事請負契約)
- 3月2日 御坊広域行政事務組合議会定例会
- 御坊市外5ヶ町病院経営事務組合議会定例会
- 3日 御坊日高老人福祉施設事務組合議会定例会
- 日高広域消防事務組合議会定例会
- 7日 議会運営委員会(第1回定例会について)
- 9日～17日 **第1回定例会**
- (平成29年度一般会計・特別会計予算 平成28年度補正予算 条例改正 ほか)
- 4月7日 日高郡議定会第1回定期総会
- 13日 日高郡議定会全議員研修会(印南町)
- 5月5日 由良町戦没者追悼法要(興国寺)
- 9日 和歌山県行政報告会
- 24日 和歌山県町村議会議長会定期総会(和歌山市)
- 31日～1日 全国町村議会議長会議長・副議長研修会(東京都)
- 6月7日 議会運営委員会(第2回定例会について)
- 9日～15日 **第2回定例会**
- (条例改正・農業委員選任・一般会計補正予算 ほか)
- 20日 産建厚生常任委員会(企業訪問)
- 23日 産建厚生常任委員会(町単工事務所視察)
- 27日 総務文教常任委員会(こども園、小・中学校訪問)
- 7月3日 日高郡議定会第2回定期総会
- 5日～6日 全国町村議会広報クリニック研修(東京都)
- 10日 御坊日高老人福祉施設事務組合議会定例会
- 8月26日 紀州路クリーン大作戦(清掃活動)
- 30日 和歌山県町村議会議長会議長・副議長研修会(和歌山市)
- 30日 御坊日高老人福祉施設事務組合議会定例会
- 30日 和歌山県後期高齢者医療広域連合議会定例会
- 31日 ゆら創生総合戦略調査特別委員会視察
- (大阪府・和歌山市)
- 9月5日 議会運営委員会(第3回定例会について)
- 7日～15日 **第3回定例会**
- (一般会計補正予算 特別会計補正予算 平成28年度一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定 白崎海

# 災害復旧に3億6,500万円

議案質疑

委員会視察

一般質問

## 条例改正

由良町個人情報保護条例  
及び由良町情報公開条例の  
一部改正  
退職後も、罰則規定が適用

### 問

今回の条例改正の一番大きなポイントは、罰則規定を条例に明記されているが、どういうものか。

### 答

これまで、罰則規定がありませんでした。法改正に伴い、情報のより慎重な取り扱いをするという趣旨を踏まえ、罰則規定を追加しています。内容的に、職員はもちろんです。退職した後も罰則規定が適用されます。例えば、個人の秘密などを提供した場合、2年以下の懲役または100万円以下の罰金に処するというものです。

### 補正予算

#### 台風による被害状況は

### 問

2つの台風により、道路などに被害があり、特に、小引から戸津井へ抜ける小引トンネルは、大きな被害でした。

### 答

町内の被害状況は、**参事・産業建設課長** 8月7日の台風5号により発生した公共土木施設災害は、道路3件、河川2件の合計5件です。また、農地農業用施設災害は、農地6件、水路4件、ため池1件の合計11件です。10月22日の台風21号の豪雨により被害のあった



小引トンネル

公共土木施設は、道路3件、河川2件の合計5件。農地農業用施設災害は、農地5件、水路3件の合計8件です。

なお、小引トンネルについては、台風21号に伴う雨量が非常に多く、トンネル内の道路下部からの噴き上げる水が押し上げたことから、地盤の下に隙間が発生しました。被害状況については、神戸大学と和歌山高専の専門家2名の先生に現地調査してもらい、意見を踏まえた中で今後、対策を講じていきます。全ての災害については、年度内に発注し、一日でも早い復旧を目指していきます。

## 意見書を提出

### 『道路整備事業に係る補助率等の 高上げ措置の継続を求める意見書』

#### (要約)

道路は、住民生活には欠くことのできない重要な社会基盤の一つです。現在、道路整備事業においては、交付金の補助率などが高上げされており、この特別措置は平成29年度までの時限措置となっています。平成30年度以降も継続するとともに、さらなる拡充等の措置を講じることを強く要望します。

#### (提出先)

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、国土交通大臣、地方創生担当大臣

- 29日 洋公園指定管理 (ほか)
- 29日 御坊市広域行政事務組合議会定例会
- 29日 御坊市外5ヶ町病院経営事務組合議会定例会
- 10月1日 ゆら！ふるさとフェスティバル(白崎海洋公園)
- 12日 日高郡議長会親善ゲートボール大会(美山ドーム)
- 11月5日 ゆらふるあい祭(由良体育センター)
- 13日 県議長会委員長・副委員長研修会(和歌山市)
- 19日 由良ふれあいゲートボール大会(由良小学校)
- 21~23日 総務文教・産建厚生常任委員会視察研修 (富山県・石川県・東京都)
- 12月6日 御坊日高老人福祉施設事務組合議会定例会
- 6日 日高広域消防事務組合議会定例会
- 7日 議会運営委員会(第4回定例会について)
- 11日~15日 第4回定例会
- (一般会計・特別会計補正予算 条例改正 工事請負契約 意見書の提出 (ほか))
- 20日 JETRO和歌山貿易センター開所式(和歌山市)
- 26日 御坊広域行政事務組合議会定例会
- 26日 御坊市外5ヶ町病院経営事務組合議会定例会

# 産建厚生常任委員会行政視察

## ～人気ブランド「ゆらっ子」について学ぶ～

日程：平成 29 年 11 月 21 日、23 日

場所：丸果株式会社高岡青果市場（富山県高岡市）  
アンテナショップ「わかやま紀州館」（東京都楽町）

11月21日から23日にかけて、産建厚生常任委員会は、富山県高岡市、石川県珠洲市、東京都楽町において、総務文教常任委員会と合同で視察研修を行いました。

富山県高岡市の丸果株式会社高岡青果市場で、3人の幹部の方からお話を伺いました。高岡青果市場での由良町の柑橘系の単価はトップクラスで、特にゆら早生の「ゆらっ子」は人気ブランドですが、出荷量が少ないので、生産拡大をお願いされました。

「いいもの」「美味しいもの」は売れる、そう考えると、簡単なことではないですが、町内の耕作放棄地の活用も視野に入れて、人気ブランド「ゆらっ子」の生産を拡大していくことができればという思いを持ちました。



丸果株式会社高岡青果市場

### 消費者の声を直接聞ける

東京都楽町のアンテナショップ「わかやま紀州館」の館長から、施設の概要や業務の説明を受けました。

ここでの取り扱い商品は、農産物、特に果物・野菜が多く、売上金額に関しては梅干及び調味梅干し、農産物、その他加工食品で全体の約半分を占めています。

由良町の物産関係では、「わかやま紀州館」で昨年の7月に「紀州あかもく」と10月に「ゆら早生」の店頭での販売促進が行われ、生産者が直接売り場に立つ機会を作り、手応えを感じたようです。



「わかやま紀州館」館長から説明を受ける

認後に購入するといった傾向にあります。時代の流れ、変化を的確にとらえ、消費者の新しいニーズと需要をつかむことで、新たなマーケットを開拓できるのではないかと感じました。

議案質疑

委員会視察

一般質問

# 総務文教常任委員会行政視察

## 「地域にあるものを活かす」～遊休施設の活用～

日程：平成29年11月22日

場所：珠洲市役所・能登半島里山里海自然学校(石川県珠洲市)

議案質疑

委員会視察

一般質問

11月22日、石川県珠洲市において、産建厚生常任委員会と合同で視察研修を行いました。

珠洲市は、日本海のほか中央に突き出た能登半島の最先端で三方を海に囲まれた市です。平成23年6月、国連食糧農業機関が創設した世界農業遺産に能登地域が日本国内で第一号の認定をされ、

また平成27年4月に「キリコ祭り」が日本遺産に認定されています。

遊休施設を活用した施策については、奥能登国際芸術祭2017を9月3日から10月22日まで開催し、7万1千人の来場者があったそうです。

芸術祭のプロジェクトは遊休施設を利用し、国内外の芸術家が地域に現代アートの作品を制作・展開したイベントです。

また、芸術祭のボランティアスタッフが宿泊する施設も廃校になった学校を改修し、現在も地元の方の協力で宿泊施設として活用しています。



奥能登国際芸術祭2017

地域資源を活用した観光施設は、観光素材として世界農業遺産に認定されたことや「キリコ祭り」が日本遺産に認定されたこと、NHK連続テレビドラマ小説「まれ」が放送され、北陸新幹線の

金沢開業などの影響により、20年ぶりに100万人の観光客がありました。

能登半島里山里海自然学校は、廃校となった小学校を三井物産環境基金の支援を受け、金沢大学能登学舎として開校し、学生の研究・教育・社会貢献の拠点として、地域の方や研究者学生の学びの場として交流の場として、多くの能登里山里海マイスターを育成しています。

また、修了者間のネットワークが形成されて、地域おこしの原動力となっており、なってきたというところで、今回の視察では、移動に相当な時間がかかり、交通インフラの整備が必要だと強く感じました。当町にとっても非常に重要な課題であると感じたところですので、



金沢大学能登学舎として開校

また、修了者間のネットワークが形成されて、地域おこしの原動力となっており、なってきたというところで、今回の視察では、移動に相当な時間がかかり、交通インフラの整備が必要だと強く感じました。当町にとっても非常に重要な課題であると感じたところですので、

由良町発展のため、今回の視察を参考にして、今後、活動していければと考えています。

# 問

議員が町行政の問題などを問いただす「一般質問」は6名の議員が質問に立ち、町当局の考えを質しました。以下その内容を要約してお知らせします。



玉置 一郎 議員

議案質疑

委員会視察

一般質問



由良小学校入学式

## 由良中学校で施設一体型の小中一貫教育も視野に

望ましい教育環境について  
合意形成を図っていくことが大切

### 問

由良町の「出生数の減少状況」のターニングポイント、岐路に立っている今、一番大事なことは、地域における学校の存在意義、そして、学校のあり方、つまり、地域とともに歩む学校像と未来を担う由良町子ども達を育てる環境づくりと学校づくりが、問われています。

出生数と3小学校の新入生の現況をみると、今後、町立3小学校は、いつか統合しなければならぬ状況になることが避けられないと実感します。

### 答

教育長

出生数及び児童数の減少を踏まえると、これからの教育環境について考えていくことは急務です。

平成32年度の町内の小学校新入生は、24名。この32年度には現状でいくと由良小学校新入生は、13名に。33年度は、34名。34年度は24名で、現状のまま推移すると衣奈小学校の新入生は0名に。35年度も、町内外からの転入転出がなければ、町内全体で小学校新入生は24名という状況です。

私は、出生数と3小学校の新入生の現況をみると、今後、町立3小学校は、いつか統合しなければならぬ状況になることが避けられないと実感します。

### 答

町長

教育環境については、現在、教育委員会や、私も含めた教育総合会議において議論を進めているところですので、今後、長期的な視野で保護者や地域の意見を聞きながら教育環境について考えていきたい。

### その他の質問

●「8020運動」の更なる推進を

私は、出生数と3小学校の新入生の現況をみると、今後、町立3小学校は、いつか統合しなければならぬ状況になることが避けられないと実感します。

私は、出生数と3小学校の新入生の現況をみると、今後、町立3小学校は、いつか統合しなければならぬ状況になることが避けられないと実感します。



森 三枝子 議員

# 一般質問

## 移住促進と今後の対策は

### PR等による移住促進強化

**問**

昨年6月、由良町の人口が6000人を切り、人口減少の深刻度が増しています。

11月12日、「MEET UP WAKAYAMA、和歌山の今とこれから繋がる1日」が大阪市で開催され、和歌山暮らしの魅力発信と移住促進をしようと、県内15市町が移住・就職相談ブースを開設しました。

日高地方からは由良町も参加し、町の魅力PRや移住相談に応じたと聞いています。

由良町は、どのようなことをアピールされてきたのでしょうか。

また、成果はありそうですでしょうか。

**答**

**町長**

今後、どういう取り組みをするのかお聞かせください。

今回開催されたイベントでは、移住等が成立したケースはありませんでした。町の魅力などは十分にアピールできたと思います。

移住促進等については、PRなどが大事であると考えますので、今後、イベント等を含め、町のPRをしていきたいと思えます。

**問**

県の空き家バンクにおいて、由良町の空き家は、何軒登録されていますか。

**答**

**総務政策課長**

現在、空き家バンクには、4軒登録されており、手続き中の2軒を含めると合計6軒です。

**問**

由良町へ移住したいという人がいた場合、町として、どのように歓迎するのか。

また、何か補助はあるのか。

**答**

**総務政策課長**

県外から移住を希望される方に対しては、移住後に町独自の各種施策や子育て支援などの制度があることを説明しています。



# 質 問



川出 純 議員

議案質疑

委員会視察

一般質問

## 地域包括支援員の増員を

人事配置は適正

### 問

来年度の介護保険料については、推測すると、値上げをしなければいけないと考えますが、地方の高齢率が高いのは当たり前です。

国の、「地方自治体の努力が足りないというよな」国会での答弁は許せません。

当町は、自治体としての努力はしていると考えますが、保険制度が始まった当時から、これだけ法律の内容が変わったものは他に類を見ません。

特に介護予防生活支援の互助化については、地域の人的資源の発掘、と言えは聞こえが良いですが、高齢化した地域社会では、自治会役員や民生

委員の確保はできないなど、地域活動の担い手にも不足しているのが現状です。

もともと介護保険制度は、鳴り物入りでスタートしましたが、現在、家族介護や地域社会に戻す方向になっています。このことは許されるべきではありません。

今後の地域包括支援センターの役割を考えると、支援員を増員して体制の強化をお願いしたい。

### 答

町長

人事配置につき

ましては、同センターに限らず、適正に行っています。特に増員は考えていません。

## 百歳体操の普及を

由良町健康いきいき体操を活用

### 由良町健康いきいき体操



由良町イメージキャラクター「ゆらの助」



### 問

県下でも始まっている百歳体操を

当町でも普及推進していただきたい。

### 答

町長

健康教室等で

は、腰痛・膝痛予防教室、と合わせ、各種健康教室

元気高齢者運動教室等を実施しています。

町独自の「由良町健康いきいき体操」を考案し、和歌山県立医科大学考案の「腰痛膝痛予防体操」

「健康教室等」の「腰痛膝痛予防体操」と合わせ、各種健康教室

やイベントで実施しています。今後もこれらを活用していきたいと考えています。

### 答

住民福祉課長

「由良町健康いきいき体操」の行政放送での再開は、現在検討しているところです。



# 一般

## 風力発電による低周波被害 健康被害について

### 健康被害についての問い合わせ等の報告はありません

#### 問

私が風力発電被害を訴えてから6年の歳月が過ぎ去りました。

全国的には伊豆や伊方といった先進被害地があり、近くでは下津町や広川町に健康被害が出て、和歌山市の故・汐見文隆医師が危険性を訴え、被害症状を診断されてきました。  
アメリカでは、二ーナ・ピアポント医師の「ウインド・タービン・シンドローム」が有名です。  
今回、札幌医大の山田大邦先生の「低周波測定と健康被害」の論文を紹介します。

我が国初の観測データに基づく意見書です。既にアメリカやヨーロッパでは卓越した被害成分があつて、それが健康被害を及ぼしているという報告書が出されています。

山田先生はここで、現状の稼働で危険領域に達していると警告しています。2 km離れた時点でも被害成分が確認できたと報告しています。

風車を抱える自治体は、健康調査を実施すべきであると結論づけています。  
私は、風車被害は低域の空気振動が原因であるので、人の住む地域に設

置することが間違っていると考えています。風車病は大変苦しい病気です。めまい、頭痛、吐き気、不眠、しんどさなどで苦しみます。私は、風力発電事業は、人間的道理に著しく違反していると考えます。協定書に基づき、由良町の風力発電を止めてください。たくさん被害者が苦しんでいます。

#### 答

##### 町長

はじめに、由良議員の質問の中で町が弾圧しているというふうな不穏当な表現がありましたが、町としては決してそのようなことはいたしておりませんので、撤回願いたい。

以前からの答え同様、町には風力発電を止める権限はありません。また現在、町の保健師や御坊保健所へ健康被害についての問い合わせ等の報告

もありません。

由良議員提出のその資料で、議員が何を言いたいのか、ちよつと理解に苦しむところですが、

以前、日本気象協会が測定したことは議員も存じだと思ひます。その中で平坦特性を測定して、

フリー工解析を行った中での評価ということでありますので、あの報告書を十分真摯に読んでいただけたらと思ひます。

#### その他の質問

●訪問客、外国人のための案内書が必要です。



由良 守生 議員



# 質 問



吉田ひとみ 議員

議案質疑

委員会視察

一般質問

## 安全に避難できる場所は

### 最善の避難行動をとっていく

**問** 今、大地震が生じ、大津波が起

こった場合、門前地区の一部、畑・中地区は、津波が到達する可能性が少なく、その他ほとんどの地区は大きな被害を受けると想定されています。

以前にも一般質問しましたが由良小学校児童の避難場所については、門前地区の開山興国寺となっています。ここは、安全な場所ですが、そこまで行くには車の往来や距離の遠さもあり、道中が危険だと思えます。もう少し近くで安全に避難できる場所がないでしょうか。児童のみならず、高齢者の方が避難できる場所を考えていただき

い。また、網代地区は海に近い高見山が避難場所になっていますが、海に遠い場所にある見上山は海拔16メートルの所まで避難路があります。さら

に上まで伸ばして、広い場所を作れば良い避難場所になるのではないのでしょうか。避難場所はたくさんあってもよいと思

います。大津波が起きても、安全に避難できる場所が何か所あるのかということも含めて、町長の考えをお聞かせください。

**町長**

津波がおさまるまでの間の一時的な避難場所は、町内に71カ所あり、自主

防災会の意見を聞いて随時見直しを行っております。平成23年の東日本大震災以後、避難場所の高さを10メートルを目標として見直しを行ったところ

です。見上山への避難路の上に広場ということですが、町の意見ということではなく、自主防災会の意見を聞いて場所を決定しています。

高見山については、高さ的に特に問題がないと考え

ます。避難場所が多いにこうしたことはないですが、自主防災会等で議論をした上で、整備をしていけたらと思っています。

**教育長**

由良小学校の避難場所については、以前にもお答えしていますが、現在興国寺となっております。ご指摘のように距離的

に遠く、車の往来も考えられませんが、想定される津波到達時間に到着できる場所であり、そこまでの避難道路が一番安全で、水・食糧・トイレ等の確保がしやすく、避難場所としては適していると考え

ます。自然災害は、想定外のことも考えられますが、臨機応変に判断を行い、児童・生徒の生命を守るために最善の避難行動をとっていきたいと考え



由良小学校避難訓練

# 一般

## 町長・町議会議員選挙での「選挙公報」発行に向けて

### 要望があれば、その段階で判断

#### 問

現状、由良町における2つの選挙では、「選挙公報」の発行はなされていません。考えてみるとおかしなところで、議員選挙では10名以上の候補の中からたった1人をどうやって選んだの投票行動なのか、これまで、有権者に選択の判断材料となる「公式」の資料を与えられないまま、選挙が行われてきたことになりました。

その結果、車も電話も各家庭になく、行政との連絡も簡単ではなかった時代の遺物をそのまま残し、地縁血縁の色合いの濃い選挙がずっと続き、今もなお、という状況ではないでしょうか。選挙公報は、すべての候補者について一覽・比較でき、完全ではないにしても有権者が候補者を選ぶ上で、大きな役割を果たすもので、これまで発行されていないのは不思議というしかありません。

全国的には、28の県で6割以上の市町村が公報を発行しています。和歌山は最下位3県のひとつです。「選挙」という制度で、「民主主義」は正統性を担保されていて、それを司るのが選挙管理委員会であり、公職選挙法では、選挙管理委員会には、『常にある機会を通じて選挙人の「政治常識の向上に努める」とともに・・・』とあり

ます。「政治常識の向上」、これこそが必要なことです。

「国の政治はその国の国民の民度以上に出るものではない」という言葉がありますが、この「政治常識の向上」ということで、公職選挙法は、この「民度」を上げることが目指すことが重要である、と語っているのではないのでしょうか。

「選挙公報」発行についての総合的な見解、条例制定を議会提案することとなった場合、予算措置を講じられるのか、ということと、「町長選挙の公報」発行に関しては執行部側で検討を考えられるのかどうかということをお聞きします。

#### 答

#### 町長

選挙公報については、各候補者の氏名、経歴、政見等について知る機会を拡充を図るということでは、有意義であるかとは思いますが。

しかし、公職選挙法の中では任意ということ、その辺を参酌していかなければならない、そして私自身の個人的な考え方としては、知る権利を議会が主張するのはいかなかな、という思いを持っています。

有権者の側にそれが必要だという意見があり、選挙管理委員会が、選挙人の意見を聞いた上で、公報により、知る権利を保証しなければ、選択できないという状況であれば必要ですが、政治家としての日々の活動の中で、考え方や人となりなどを知らせていくということも大事です。

選挙管理委員会の委員に要望があるということであれば、選挙管理委員会も、こういう要望がある

る、条例制定してほしいということにつながるのではないかと思います。

また、仮に議会で議論した上で条例制定された場合、予算措置を講じることについては特に異を唱えるものではありませんが、その段階で具体的な内容を含め、判断すればと考えます。

#### その他の質問

- 小学校統合について広く意見を聞く機会を
- 今年度学力検査の結果の検証は



中谷 茂生 議員



# ハタチタチ 20歳 に聞きました

祝 成人

2018



海外旅行したい  
海奈

大人として自覚を  
持って未来へ羽ばたきたい  
大貴

人の縁を大切に  
していきたい  
ひなた

保育士になりたい  
～子供が好き  
藍子

地元で教員になる  
真樹

独立して起業  
玲央

歴史に名を残す  
純平

農業法人で頑張る  
琉也

これからの人生  
を謳歌したい  
知也

IT 業界で頑張って  
SE になりたい  
智司

人生を楽しみたい  
天馬

経営者になる  
陸

健康に過ごす  
和樹

信頼される  
大人になりたい  
将志

旅行行きまくる  
蝶乃

大人として恥じない  
ように生きたい  
裕太

100 歳まで生きる  
怜治

小学校の先生に  
香湖

無事故で  
太一

外国語を使った  
仕事をする  
光貴

一日一日を大切に  
友弥

仕事で頑張る  
咲綾

大きい家に住む  
龍一

人生を楽しみたい  
司

できるところまで  
野球を続ける  
諒

楽しく頑張る  
陽水

DJ で世界に行くこと  
真亜斗

平穏な暮らしをしたい  
健登



## 議会広報編集委員会

委員長 中谷 茂生  
副委員長 中村 真一

森 三枝子  
山名 実  
吉田ひとみ  
玉置 一郎  
川出 純

## 編集後記

2018年の干支は戌(つちのえ・いぬ)です。

正月にはスパーマンを見ることができました。ちなみに、月蝕も2回見られるそうなので、月に関するイベントが多い年回りになりそうです。

戌戌は2つ似たような漢字が並んでいますが、実は、それぞれ正反対の意味を持ち、60年でひと回りをする干支の中でも類を見ないなど、はっきりと盛衰が分かれ、「良いことと悪いこと」を意味しているそうです。皆様の御多幸とより良い年になることをお祈りいたします。

(玉)